

---

# 覆面小説家の集いPART2

神村律子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

覆面小説家の集いPART2

### 【Nコード】

N8319I

### 【作者名】

神村律子

### 【あらすじ】

私は小泉太郎。「とてつもない郵政民営化」という推理小説の作者だ。

私は小泉太郎。

先日、覆面小説家の集いで、すっかり騙されて腰を抜かした小心者だ。

今度は、あの時のメンバーで小説を書き、作者を当てるゲームを開催するという通知が届いた。

開催場所はあの因縁のホテル。何か嫌な予感がする。

但し、今度はドッキリはないという。本当か？

しかし、また覆面で集まるのだそうだ。やはり怪しい。

期限は一ヶ月。短過ぎる。

遅筆の私には荷が重かったが、文字数の最低限はないそうなので、何とかなりそうだ。

但し、印刷するのではなく、CD・RWのディスクに落として持参する事になっている。

紙や印字で特定させないために、委員会で規格を統一するのだそう  
うだ。

私はなるほどと思いながらも、面倒臭いとも思った。

そして本番当日。

また参加者は、黒い頭巾を被り、ホテルの会場に集まった。

あ。あの太った人は、確か神林光子とかいう作家だったな。

む？ 名前違ってるか？

それにしても、前回より更にパワーアップしているぞ。

どんな食生活を送ると、あんな酒樽のような体型になるんだ？

しかも身長が低いから、歪いびつな酒樽だ。

いかん、私が見ているのがばれた。彼女が近づいて来る。

「今晚は」

「今晚は」

私は頭巾で見えないのに愛想笑いをして応えた。

「実行委員会の者です。執筆された小説をお渡し下さい」

「はい」

私は携えていたアタッシュケースからCD - RWのケースを取り出し、彼女に渡した。

「ありがとうございます」

彼女は次々にそれぞれの作家が書いた小説の原稿のデータを集めて回った。

「それでは、皆さんにお渡しする原稿を印刷して参ります。それまで、お食事をお楽しみ下さい」

酒樽が言った。彼女は他の委員と共に会場を出て行った。

私はおいしい料理を食べ、ワインを飲み、楽しんだ。

やがて食事は終了し、ホテルの従業員達がテーブルを片付け始めた。

おや、と思った。

「ねえ、君、何故テーブルを片付けるのかね？ 集いはこれからが本番だよ」

私が一人の従業員を呼び止めて言った。するとその従業員は、

「私共は、お食事会とお聞きしております。主催者様はもうお帰りになりましたよ」

「ええ！？」

私は度肝を抜かれた。どういう事だ？

近くでその話を聞いていた他のメンバーが、

「騙されたんや！ あいつら、最初から騙すつもりやったんや！」

と叫んだので、場内は騒然とした。

「もしかして、この食事代も、ウチらに請求が来るんじゃないですか？」

「そんなバカな。俺は払わんぞ、そんな金！」

大騒ぎになった。

しかし、食事の代金は全て前払いされており、その心配は不要だった。

「何だっただ、一体？」

私は疑問を拭いきれないまま、ホテルを出た。

答えはそれから二ヶ月あまりたった頃に判明した。

「神村律子作 特捜刑事 相方」

そんなタイトルの推理小説が、ある投稿サイトに載っていた。

これは杉下左京氏の作品のタイトルと全く同じだ。

「パクるためか？」

私はまた騙されたのだ。そして、自分の作品が投稿されていないか、探した。

なかった。他の作家のパクリ小説はいくつか見つかったのに。

何となく寂しかった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8319i/>

---

覆面小説家の集いIPART2

2011年1月7日17時43分発行